



# 広島工大同窓会会報

第31号  
発行  
広島工業大学同窓会  
編集  
同窓会編集委員会  
〒731 広島市佐伯区三軒下1-1  
広島工業大学内  
TEL. 082-921-3121 (内線) 8570



野球場 横



4号館前



同窓会会長  
道田 憲治

大雨の降った梅雨もあけ今年も暑い夏が巡って参りました。

四季の移り変わりというものとは毎年ある程度同じように移り変わりますが世の中というものは、常に同じようになるとは限りません。日々刻々と変わる環境の中でわが工大同窓会におきまして、より良い道を選択し歩んで行かなくてはならないと考えております。

先日私も、東広島市に本社がある佐竹製作所職場支部、新入社員歓迎会に、招待

を受け出席しました。会員総数は96名で、今回の参加者は、新入社員6名を含め30名でした。

倉本支部長（64年度・電子卒）の挨拶に始まり、参加者全員が、自己紹介や業務内容の話などをされました。会員の方々の中には、参加して初めてお互いが工大同窓生であることに気づかれる方もおられ、その後の人間関係においても、相談やアドバイス等プラスになることが多いと話しておられました。このような交流会が会員相互のつながりをつくり、同窓会活性化の基になると考えております。

私自身2年前に同窓会長に就任した折りに掲げたのが、工大同窓会の活性化というものでした。この変化の多い世の中で、今後より一層の同窓会の発展を考えた時に、今までの同窓会基盤の上に新しい意味をも加えようと言うことです。それがまさに、今回のような同窓会による新たな人脈ネッ

トワークの構築というものでした。多くの皆様の同窓会を通じて新たなチャンスをつかんで頂きお互いに協力しあえば、それが皆様の一層の発展につながりひいては、工科大学を志す若い力を増やし、大学と同窓会の理想的な協力体制をも築くことができ、良いものがより良いものを生み出すという連鎖的好循環をつくりあげることができのではないかと思います。

今後ともより広範囲にわたり多種多様な交流会を図って行くと共に今までの同窓会としての活動もより一層充実させ、一人でも多くの方に工大同窓生で良かったと思って頂けるように、役員一同力を合わせ業務を果たして行こうと考えております。今後ともご理解、ご協力のほどをよろしくお願い致します。

最後になりましたが、会員皆様方の益々のご健勝、ご活躍をお祈り致します。

## 第32回定期総会の報告

広島工業大学同窓会 幹事長 松廣 高

## 1. 総会・懇親会のご報告

平成9年度の広島工業大学同窓会総会が、平成9年4月27日(日)午後4時30分から5時30分まで総会、6時より8時まで懇親会が広島県民文化センターで開催されました。また、本年度も昨年と同様に総会に先立ち各支部より支部長に出席いただいて支部長会議を開催いたしました。今回の支部長会議も昨年と同様に1時より4時までの3時間行われ、各支部の現状報告からはじまり、各支部の活性化あるいは同窓会本部に対する要望、本部から支部への要望など熱心に議論していただき、今後の本部と各支部との協力体制づくりについて有意義なひとときであったと思っています。

総会は道田会長の挨拶に始まり、幹事長の大林氏の司会により出席者の中より、長弘光高氏(昭和41年・稲子卒)が議長に選出され、議長の議事進行により総会は進められました。



まず、大林幹事長より平成8年度の主な活動内容についての報告、平成8年度会計報告がなされ、普査会計監査より監査報告がありました。引き続き役員改選が行われ、新幹事長の松廣より平成9年度の活動方針案および予算案の提案がありました。承れて閉会しました。

なお、本年度の同窓会役員は別記のとおりです。総会終了後、川崎名誉会長、鶴根慶をはじめ各学科、各部署の教職員、自治会・体育会・文化局の学生の方々を交えた懇親会が開催され、学長、総長より心暖まるお言葉頂いたのち、顧問副理事長に乾杯の首領をとっていただき懇親会が始まりました。

懇親会は終始なごやかな雰囲気で行われ、最後は参加者が一つの輪となって広島工業大学歌を合声し閉会しました。

来年度も皆様のご参加を心よりお待ちしております。

## 2. 平成9年度活動方針

平成9年度の活動方針につきましては、支部長の評議員への選出等、支部を含めた同窓会活動の活性化を今年度も柱として活動してゆく考えであります。以下に活動方針を別記しておきます。

- (1) 会誌・会報の発行 (2) 住所のメンテナンス (3) 支部活動への援助 (4) 在学生援助 (5) 同窓会業務の大学との連携 (6) 財産管理

## 平成9年度同窓会役員

職 務	氏 名	卒業年	学 科	評 議 員	氏 名	卒業年	学 科
相 談 役	中島 重男	41	電子	*	広島 隆	45	経営
*	本見 重吉	42	*	宗宮 貴	45	*	
会 長	道田 豊治	45	経営	*	中畑 佳二	H5	*
副 会 長	寛谷 寿一	47	土木	*	中田 時生	46	電気
*	横山 敏次	44	建築	*	榎村 邦彦	56	建築
*	井手 俊彦	43	機械	*	寺地 隆二	41	電子
幹 事 長	松広 弘	48	経営	評 議 員	福原 潤一	38	*
副 幹 事 長	西田 幸雄	45	*	*	倉本 昭紀	38	*
*	大林 貴	55	土木	*	大森 勇夫	42	*
会 計	重吉 孝昭	46	電子	*	森田 南雄	42	*
*	加藤 伊吾	H4	経営	*	大森 忠昭	44	*
*	中村 繁治	H7	機械	*	山内 謙博	55	*
会 計 監 査	森田 正	55	建築	*	森本 洋哉	41	電気
*	河根 光男	44	電子	*	菊川 健二	44	*
*	高橋 明	49	機械	*	藤村 洋行	48	*
書 記	鈴村 文策	62	電子	*	松原 昌弘	51	*
*	梶野 光雄	63	機械	*	木村 一彦	44	機械
幹 事	砂田 謙二	39	電子	*	坂本 幸雄	45	*
*	村田 弘志	41	*	*	勝 孝司	46	*
*	川畑 敬志	42	*	*	中村 幸人	46	*
*	玉野 和保	44	*	*	藤川 正博	47	*
*	湯沢 照	39	電気	*	松村 拓真	51	*
*	堀上 孝治	42	*	*	新藤 敏春	51	*
*	原田 義治	42	*	*	中田 敬司	58	*
*	片山剛之	42	電子	*	谷川 智洋	H1	*
*	松江 孝博	43	機械	*	藤原 英則	H2	*
*	中西 勝次	43	*	*	竹内 隆吉	44	土木
*	小松 正明	43	*	*	柳屋 昌志	60	*
*	森島英治郎	43	*	*	三上 明夫	44	建築
*	小池 有明	52	*	*	馬場 源誠	44	*
*	山下 一彦	55	*	*	加藤 忠子	45	*
*	水落 健治	61	*	*	下田 幸夫	50	*
*	松岡 泰弘	63	*	*	山光 拓夫	53	*
*	伊藤 秀敏	45	土木	*	正木 順康	54	*
*	村中 昭典	59	*	*	勝 孝司	45	経営
*	菅原 辰幸	44	建築	*	新保 栄一	45	*
*	手越 義昭	49	*	*	前原日出明	49	*
*	菅 雄三	50	土木	*	岡本 世紀	53	*
*	西野 謙夫	49	経営				

## 平成8年度同窓会会計報告

平成8年度収入	25,845,691	平成8年度総支出	900,000
平成8年度総収入	18,913,731	収入	19,280,698
残高	6,931,960	<収入の部>	
<収入の部>		会費	18,191,662
平成7年度繰入金	2,334,394	奨学金基金入金	960,000
入会金	3,294,000	助成費剰余金	267,000
終身会費	19,728,000	利息	168,106
総会会費	270,000	寄付金	561,830
預金利息	93,857	合計	20,189,698
雑収入	159,840	<支出の部>	
合計	25,845,691	総会費	900,000
<支出の部>		預金利息	900,000
印刷製本費	4,955,330	合計	900,000
会費	1,250,972		
支部費	320,000		
助成費	1,053,000		
通信運搬費	9,104,78		
消耗品費	1,332,330		
雑費交通費	32,000		
役員手当	5,200,000		
委託費	1,639,000		
保守費			
福利費	12,231		
慶弔費	10,000		
賃借料	43,118		
輸送費			
雑支出	21,321		
同窓会基金繰入金	1,000,000		
奨学金基金繰入金	900,000		
助成費剰余金	367,000		
手換費	18,913,731		
合計			

平成9年度予算	平成8年度総収入
<収入の部>	6,931,960
収入	3,075,000
会費	19,080,000
終身会費	400,000
総会会費	60,000
預金利息	70,000
雑収入	29,618,960
合計	
<支出の部>	
印刷製本費	3,202,000
会費	1,630,000
支部費	1,530,000
助成費	1,330,000
奨学金基金	1,300,000
通信運搬費	6,720,000
消耗品費	1,237,000
雑費交通費	1,650,000
役員手当	32,000
委託費	2,000,000
福利費	100,000
福利費	100,000
慶弔費	150,000
賃借料	100,000
輸送費	100,000
雑支出	60,000
同窓会基金繰入金	4,000,000
奨学金基金繰入金	900,000
手換費	3,485,960
合計	29,618,960

## 奨学会会計報告

<収支決算>	20,180,698
平成8年度収入	

## ●注意●

最近、同窓会あるいは同窓会より依頼を受けた業者と名乗り、名簿作成の為などと、勤務先等の問い合わせ電話が多いようです。同窓会では、毎年発行の同窓会会誌・会報に同封の「連絡先調査表」による調査のみで、その他の手段での個人データ調査は行っていません。また、名簿の販売につきましては同窓会から電話、八万半等のによる売り込みは一切行っていませんのでご注意ください。

# 工大Spirit 近況報告1

## 株式会社 佐竹製作所勤務 (昭和43年機械工学科卒業) 横山 隆雄

このたび、同期の小西教授から突然、同窓会報への執筆の電話を頂き、会報の紙面を汚すこととなり、いろいろ迷ったあげく半世紀も生きた今を振り返ってみました。こんな人生を送っている先輩・後輩がいると読み捨てて頂ければ幸いです。

1968年(昭和43年)に、機械工学科の第1期生として卒業後、早や30年を経過しようとしております。

卒業後、戦前まで実家が広島市内で、広島の地場産業である製針業を営んでいたこともあり、親族から三代目としての再興の話が出て、市内の某製針メーカーに入社しました。

その後まもなく、業界全体が斜陽産業化し衰退の一途を歩み始めたため、再興をあきらめて佐竹製作所に中途入社しました。

佐竹製作所入社以来27年余りを振り返ってみると、技術部に配属となり初の大型乾燥機の設計から現地掘削付け・試験、そして昭和51年から関連工場への出向が始まり、先ず佐竹鉄工、昭和53年から岩手県の東北佐竹で生産技術、昭和60年から本社に帰って品質管理・製造技術を経て、平成4年本社工場(西条工場)、平成7年より20年ぶりの技術部門への復帰。この間、決して順風満帆ではありませんでした。

佐竹製作所を選んだ自分への責任と、良き上司との巡り会いと、自分を取り巻く数多くの人たちの、指導・協力により乗り越えることができました。

今思えばその時つらかったことが、みなチャンスであり、経験となつて残っています。

商品設計を始めとして、生産技術部門での経験、そして生産現場での経験は、今の私の大きな財産であり、原動力になっている。



中でも、3つの工場勤務の13年は、新生産方式(かんぼん方式・1台セット生産方式)の導入と普及・PM賞への挑戦は、まさしくお金でかえない貴重な経験であったと思っています。

私の好きなことばに、イギリスの文人トマス・カーライルのことばの、「経験は、最良の教師である。ただ授業料が高い」とある。何年か経てば修了というわけにはいかなく、歳月がものをいって年の功となる。

その上、決して甘い教師でなく、情け容赦なく犠牲を求める。ひどい目にあったとき、高い月謝を払ったと感じる、何事にも熟練するにもやはり長い間の高い努力が必要である。

この経験によって、なににも不慣れな姿勢で考えれば物事は必ず解決するという、意識が自ずと生れてくる。そして、この姿勢が洞察力と先見性を生み、判断力・決断力・行動力につながってくる。

今、この年になって「経験」の持つ重さをやっと理解できるようになった。

20歳代で学び、30歳代で学んだことを実践し、40歳代で新しいことに挑戦し、50歳で後継者育成と未知への挑戦、これが人生と思う。

今、20年ぶりに技術部に戻り、50歳代でありながら、40歳のつもりで人生を送っている。えらそうなのをいっても、経験豊富なる人から見るとまだ、私など赤子のようなもの、謙虚な心で、豊かな人生を送るためのもっともっと多くの経験を重ねていきたい。

# 工大Spirit 近況報告2

## 株式会社 富士ビー・エス 広島支店勤務 (平成3年土木工学科卒業) 石川 美成

私は平成3年に卒業し、(株)富士ビー・エスというプレストレストコンクリート構造物の設計・施工を行っている会社に就職して、橋梁の現場及び設計の仕事をしています。

こういう文章を書くのは苦手ですが、卒業後のことを書かせていただきます。

就職して初めは、東京支店に配属になり、都会暮らしを想像したのですが、群馬県松井田町で高速道路にかかる橋梁の現場で施工管理することになりました。

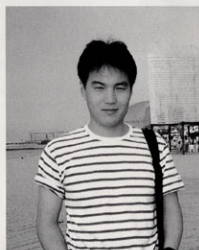
松井田町というのは、軽井沢まで車で20分という山深いところで、一番近いコンビニまで8km、食事に行くのに17~18kmのレストランまで行っていました。

「寒いところに来てしまった」と思っていたのですが、冬になるとスキー場まで20分で行けることもあり、仕事が終わった後ナイタースキーを楽しむことが出来ました。

学生時代にもスキーに行ったことはあったのですが、この時に道具をそろえてからは、毎年スキーを楽しんでいます。

仕事の方は、最初の内は材料や資材の名前もわからず大変だったのですが、一つの工事が終わったときには、苦労した分感動も大きく、しかも何十年も後まで残る橋を作ることが出来た喜びがあります。

同窓生の皆様も、様々な分野でご活躍のことと思います。くれぐれもお体には気をつけて頑張ってください。



25km程の中に点々と橋を作っていましたので、車での移動も一日平均100km位走っていました。25kmといっても、途中には点滅信号が一つあるだけで、ほとんど道もまっすぐなので30分もかからぬ程です。

道端にはほししいのが見られ、キタツネが歩き、牛は道端で草を食べ、馬は道路で遊んでいるのが広島では考えられない事ばかりでした。三年半ほど東京支店に勤務した後、福岡支店に勤務し、技術部にて橋梁の設計を行うことになりました。ここでは、張り出し架設工法(PC5径間連続ラーメン箱桁橋)とPC合成床版を用いたPC3径間連続合成桁橋の設計を行い、その現場で施工管理もすることとなり大変良い経験になりました。

現在は、広島支店に配属され、設計及び現場施工管理をしております。

最近は、仕事にパソコンを使うことが多くなって便利なのですが、ハードソフトもほとんど新しくなっていくのでついていくのが大変です。「学生時代にもっと勉強しておけば良かった」と思う事があります。

同窓生の皆様も、様々な分野でご活躍のことと思います。くれぐれもお体には気をつけて頑張ってください。

# 在学生だより

## 学生自治会 学生自治会長 杉山 弘幸

我が学生自治会執行部は、現在37期を迎え部員18名で学生と教員とのパイプライン役としてがんばっています。しかし、部員が多くても仕事ができるというも役立ちません。会長として初めて人を指導するという立場に置かれ「指導する」ことの難しさを感じました。

話を変えますが、執行部主催行事として現在では「新入生歓迎会」「学生大会」「キャンパススクリーンキャンペン」があり、このほかにも他団体主催の行事がありますが今年もつと執行部の主催（4団体主催）行事を増やそうと企画しています。7月では「第1回4団体すべしるキャンプ」のみき森林公園、8月では以前のOB、OGの方やられたいた他大とのキャンプをもっと気楽な感じにして「第1回自治会すべしるキャンプ（仮称）」を開催します。また、4団体の現役生主催による「ダンス/パーティー」をやるよう企画しています。とにかくこれらを企画する理由はそれぞれの親睦を深めるためという点ですが、私の中では「友達」を作ろうという目的があります。これからの生涯を生きる中で、人生の最終年頃の友達は一生のものと考えていきます。このことは、卒業された皆様なら分かっていたいただけると思います。

あと現職の任期を揃えないよう頑張ります。そして後輩に学生自治会執行部を託そうと思います。

## 文化局 文化局長 江崎 将司

今、これを語っている方々ほとんどはさつと文化局を存じないでしょう。そこで文化局とはいったいどんな組織なのか、簡単に紹介したいと思います。

大学内サークルには、大きく分けて体育系サークルと文化系サークルの2つがあり、文化局はその内の文化系サークルの統制を行い、文化系サークルの発展に努めるための支援です。主な活動として、普段はサークル活動の支援やサークルと学校側とのつなぎ役となったり、サークルの活動内容をチェックしたり、サークル行事の支援を行ったりしています。さらにサークル支援活動の一環として行事を企画しサークルを出演・出張させて、サークルの活動発表の場を設けてもっています。

我々は年間を通じて、いくつかの文化活動を行っています。今年の主な行事を書き出してみますと4月文化系サークル機関誌「文運」の発行5月14日第29回春の芸術展（高市民文化センター）6月21日第29回定期演奏会（アステールプラザホール）11月1～3日大規模協力12月6、7日第29回冬芸術展（南区民文化センター）12月21日第4回合同発表会（興民文化センター）

このように我々は年間を通して、文化系サークルの為、広島工業大学の文化的発展のためにがんばっています。もしよろしければご覧になって下さい。今の工大生が何を考え何をしているのかかわかると思います。

## 体育会 体育会本部部長 横山 欣吾

我々体育会本部は22年目を迎え、今こそ体育会改革の動と決意し本部員20名一丸となつてた。今日、日の活動してまいります。

現在体育会では一年間に本部主催の行事が12行事（うち学生が参加できるのは10行事）あり、それに加えて学生自治会総会などの他会も開会しております。行事の参加人数は年々落ち込んでまいり、集会所にまで進歩がなく学生が参加を望まない、いわば死んだ集会所になっております。自ら体育会クラブについても体育的に人数減少が目立ち、クラブ員についても体育会に対する意識の低下が目立っております。学生の全体的意識、気風が変化したととてまえばそれまでです。我々本部員は少しでも現状を打開しようと思っております。

そこで、我々は「体育会というスポーツ振興組織を通じての学生の自立心の確立と自治意識を育む」という目標を立てました。学生時代は「とにかく何かをやってみる」それが肝要だと考え無気力無目的な学生ではなく、いかなる気のある学生をスポーツと学生生活を通じて行こうと考へております。その学生達（活動が何もない）が社会に出ると学生時代の活動がその何の役に立ち、思い出に残るならば本部長と致しましては最高の栄誉だと感じます。また大学にも貢献できたと言えぬではないでしょうか。そのために私達はと半年の任期を一回一杯の役まで所定させていただきます。最後になりましたが、先輩方の今後益々のご活躍をお祈り致します。



## 夏だより

# 1997広島工業大学

どなたでもご利用できます

最近、学外の主として研究者の方から、本学図書館の利用について、お問い合わせが増えてきておりますので、それにお答えする形で、利用案内をさせていただきます。

1. 開館中は、学外のどなたでもご利用できます。ご遠慮なくご来館ください。  
● 平日 9:00～18:00  
● 土曜日 9:00～15:00
2. ご入館になられましたら、2階のカウンターにある入館者名簿に、必要事項をご記入ください。
3. 館内にある資料（図書・雑誌等）の閲覧はご自由ですが、貸出はできませんので、ご了承ください。
4. 資料の中で、必要な箇所のコピーはできますので、その旨をカウンターにお申し出ください。

広島工業大学附属図書館

\* 休館日 一・日曜日・祝日、創立記念日2/23、原爆の日8/6、盆8/14～16、年末年始12/28～1/4、毎月末日（図書整理日）、夏休み中（7/8～8/31）の土曜日  
なお、学校行事などで臨時に休館する場合がありますので、事前にお問い合わせください。  
広島工業大学 Tel.082-921-3121 内線280or282 図書館閲覧係

## ◆ 人事・学園役員について ◆

平成9年6月18日付けで、学園の鶴義理事長・総長が総長の職を退かれ、各名義長に就任されることになりました。また、後任の学園総長には、高木俊宜理事・評議員が、同日付けで就任されました。

## 編集後記

夏一番、暑い日が続きますが会員の皆様はお元気で過ごしてでしょうか。新聞紙上にインターネットが話題になることが多くなっています。本学でもWWWのサーバをたあげ情報発信を行っています。また、同窓会にも事務用E-メールアドレスをもうけて情報収集・発信に利用しようとおもいます。同窓会に対する要望、原稿の受け渡し等に利用して下さい。

以下にURLとE-メールアドレスを示します。

URL: <http://www.cc.it-hiroshima.ac.jp/>

E-mail: [dosokai@jim.it-hiroshima.ac.jp](mailto:dosokai@jim.it-hiroshima.ac.jp)

表紙の写真撮影者 広島工大同窓室・松浦 純氏

## 同窓会地域支部情報

- 香川県支部総会  
11月9日（土）  
高松市内に於いて開催予定
- 愛媛県支部総会  
10月18日（土）  
松山市内に於いて開催予定
- 岡山支部総会  
11月18日（土）  
ホテルニューオカサマに於いて開催予定

## 平成8年版同窓会会員名簿頒布中

(平成9年3月発行)

- 頒布価格 1冊3,000円（送料込み）
- 申込方法 会員番号（学生番号）、卒業年、学号、氏名、送付先を明記のうえ、同窓会事務局へハチマキ又はFAXにてお申し込みください。
- 支払方法 振込用紙をお送りしますので、郵便局からお振り込みください。名簿は、ご入金の確認後お送りいたします。

★ 本簿は同窓会正会員に限らせていただきました。なお、「会員名簿」は、従来、毎年3月に発行してまいりましたが、今後は、5年ごとの発行を予定しておりますのでご了承ください。次回発行予定 平成13年4月

＜連絡先＞広島工業大学同窓会事務局  
〒731-51 広島市佐伯区三宅2-1-1  
TEL. (082) 921-3121 (内線570)  
FAX (082) 922-1925

## 同窓会奨学金基金へのご寄付のお願い

同窓会奨学生の財源は、会員の皆様からのご寄付によってまわっております。皆様ご厚情のため、ご協力をお願いいたします。金額は上下のとおりで、郵便振替 口座 1-000円  
送付方法：郵便振替（届封の振替用紙をご利用ください。）